

平成30年 3月 7日

足立区立鹿浜第一小学校  
学校長 木村 浩昌 様

足立区立鹿浜第一小学校  
開かれた学校づくり協議会  
会長 小宮 功

## 平成29年度 学校関係者評価書

### 1. 自己評価書全般について

前年度の取組みや成果、課題を分析し、下記の3項目を重点的な取組み事項に設定し、学校運営を図った。

課題を克服するための取組みを定め、検討した取組みを実施し、実施した内容を評価し、次年度の課題克服の取組みに反映させる、PDCA サイクルに基づきしっかりと運営されている。

協議会は、学校側の自己評価や授業参観時の状況、協議会での意見交換等に基づき取組み事項の成果と課題について検証し評価を行った。

#### 重点的な取組事項－1 授業力の向上並びに学力の向上

4月の区学力調査の通過率75%以上を達成基準に、限られた時間の中で更にパワーアップタイムを充実させ、学習課題の改善に取り組んだ。特に朝の読書タイムは、1時間目の授業への導入がスムーズに移行でき成果が確認できた。

学力調査の結果を詳細に分析し、つまづきのある児童に対し「東京ベーシックドリル」や「習熟度プリント」等を教材として個別の指導を充実させ、通過率79.6%と基準を達成した。

取組みの中でもプレジデントタイムの実施については、基礎学力の定着がおぼつかない児童を対象に管理職が関わり基礎学力の向上に尽力され、成果を得ている。

また、本校はご多聞に漏れず若手教員が多いことから、授業力向上を図るために年間30回に及ぶ研修会を実施している。研修成果の定着を確認するため、管理職が定期的に授業観察を行い「アドバイスシート」を作成してフォローアップし、若手教員と意思の疎通を図りながら成果を積み上げている。関係者として頭の下がる思いで高く評価したい。

教員が持つスキルの多少により、児童の将来が左右されかねない重要な取組みである。教員の負担は相当なものとして理解しているが、今後も自己啓発に励み、児童のために多岐にわたるスキルを獲得していただきたい。

#### 重点的な取組事項－2 幼保小中の連携

幼保小は、谷在家保育園・沼田保育園、小中は西新井中学校・西新井第一小学校・西新井第二小学校、特別支援学級は鹿浜菜の花中学校と連携を図った。連携によって教員間の交流だけでなく、園児と児童、児童と生徒の交流も図ることができた。

幼保小の連携に当たっては、校長が保育園に出向き、卒園から入学へのスムーズな移行を

目指して園児の保護者を対象に子育て講習会を行っている。

なお、小学校から中学校への円滑で欠落のない接続を目指すのであれば、本校児童の進学実態を反映させた連携を考慮されたい。

教員、保育士との交流が、新たな研鑽の場となり、児童、生徒にフィードバックされることを期待したい。

### 重点的な取組事項－3 心の教育の推進

心の教育の推進に関する取組みは、以前から継続して行われており、元気なあいさつや落ち着いた授業態度などを見るにつけ、取組みの成果は着実に上がっていると感じる。

あいさつ運動は、年間を通して実施されているが、今年度は、一度立ち止まって挨拶する「ワンストップ挨拶」を取入れた。

この取組みは、誰に挨拶をしているのかが明確になるため、自他を尊重する気持ちと態度の育成が期待されることから継続して実施していただきたい。

伝統文化を大切にする活動の推進に関する組みでは、俳句を取り上げているが、俳句は作文などと違って、17音で感情や情緒を表現する瞬発力が要求される。表現力や自然への関心を高め、感情や情緒を育むには有効とされており、継続することで更に成果の向上が期待できる。

また、地域には伝統・文化を継承する団体が数多く存在することから、これらの団体と連携することで心の教育の推進が図れないか団体と学校で協議してはどうか。

## 2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学校や地域が抱える課題については、今後も学校、協議会、PTA、家庭、地域等と情報を共有しつつ、連携を密にしながら克服に努めていきたい。

また、協議会としては、学校行事等へ積極的に参加し、保護者や児童、教員と意見交換ができる機会を増やしていきたいと考える。

## 3. その他

昨年度9月から校長先生の発案で鹿一小ブログの運営を始めたが、学習や行事の様子がリアルタイムで閲覧でき、アクセス数も増えて関心の高さが伺われる。学校と家庭や地域がブログを通じて繋がっていることを実感できる。今後も元気な児童の様子を積極的にUPし、情報を発信していただきたい。